

学界消息

史学研究會關係

例会 十月六日(土) 午後一時 兼友會館
中国における終末思想 兼子 秀利
春鑑抄・三徳抄及び義倫抄について 今中 寛司

堺市における小売商店街とその商圏
――衛星都市の性格について――

位野木寿一

国史關係

読史會九月例会 九月八日(土) 午後一時 陳列館内
開港と地方商人 有泉 貞夫
封建都市の起源 松山 宏

東洋史關係

東洋史談話會例会 十月四日(木) 午後二時 笠沙 雅章
中国禪宗の地方發展

東洋史談話會例会 十月十八日(木) 午後二時 伊藤 道治
中国古代史の現状とその見通しについて

西洋史關係

西洋史読書會例会 九月二十九日(土) 午後一時 京大西洋史研究室
サン・シモン及びサン・シモニアン
における諸觀念の變化 堀井 敏夫

J. B. Pratt, Expansionists of 1898

三木 雅文

地理學關係

人文地理學會第十七回例会 九月二十九日(土) 大阪商業大學
伏見酒造業の歴史地理的考察 末尾 至行
和歌山県における柑橘栽培の変遷 岡本 啓志

アメリカにおけるニグロの分布について 今村新太郎

考古學關係

香川県三豊郡詫間町・紫雲出遺跡の調査
昨年十二月の第一回調査にひきつづいて八月二十日より九月一日まで京大考古学教室
小林行雄講師ほか教室員が参加した。昨年度のトレンチの両側に発掘区劃をひろげた結果、住居關係の遺構と思われる四×五米と三×二・五米の二つの方形の石積の区劃が発見された。

考古学談話會例会 九月二十九日(土)
八月二十三日付で文学博士の学位を得られた京大有光教一助教授の祝賀を兼ねて本年度第三回例会を開いた。参会者二十名。同氏の朝鮮の磨製石劍の形式及びその分布と意義について講演があつた。

梅原名譽教授の渡台
中国国民政府の招聘を受け十月十四日羽田出発。本年は台湾大學で講義し來春歸國の予定。

編 集 後 記

史林発刊の順調な歩みに加え、各巻の最後を飾る特集号もこれで三回を数えることとなった。会員諸兄姉の御支援のほどをまず深謝しなければならぬのである。特集号はたえず新しい視角から新しい問題を抱えていくことを意図したものであり、幸いにして編集委員の微意を汲んで頂ければと思う。なお最後に本号に永年理事長として本誌の発展につくされた原隨園教授の御近業をえたことを欣懐とし、他の諸業績とともに御説了を願うものである。

〔お知らせ〕 会員には本号を百円で頒ちました。

史 林 (第三九巻 第六号)

一九五六年十月二十五日印刷
一九五六年十一月一日発行 定価二百円

発行所 史 学 研 究 会

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

印刷所

理 事 長 堀井 敏夫
編 輯 主 任 原 随 園
京都市下京区七条御所ノ内 東町三九
中村印刷株式会社